

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あすなろ		
○保護者評価実施期間	令和7年2月3日		～ 令和7年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 33
○従業者評価実施期間	令和7年2月3日		～ 令和7年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用児が楽しく通うことができている	・利用児が楽しく過ごせるよう、季節に応じた行事の設定をしている ・毎月、誕生会を設定している ・月案に載せる文章を、読んでワクワクするように工夫している	・外出する行事の機会が無い場合、外出する行事の設定をする ・利用児ひとりひとりと関わる時間を、より多く持つように努める
2	・保護者が事業所に対して安心感をもってきている	・利用児迎えの際、利用児のことや保護者自身について、悩みや困ったことがないかお伺いを行なっている ・保護者がゆっくりと話ができるよう、職員と保護者のみで話しをしてから、利用児を保護者に渡すようにしている	・事業所内でどんな活動を行なっているのか、保護者に伝え、事業所に対する不安をクリアにしていく ・行事の時だけでなく、普段の様子等もブログを活用し、保護者に伝えていく

3	<ul style="list-style-type: none"> 職員間の連携が図ることができている 	<ul style="list-style-type: none"> 気軽に話しができるように、普段からこまめに一人ひとりの職員と話しを行なうようにしている 困ったり迷ったりした際には、先輩後輩関係なく、様々な職員に情報を共有し、一緒に考えるようにしている 	<ul style="list-style-type: none"> ひとりひとりの思いや考えを、聞く時間を設ける 会議の際、全体で向かう方向性を周知、共有し、同じ方向に向かった療育が行なえるように努めていく
---	---	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 体調不良（発熱や発作等）の際、隔離して過ごす部屋がない 個別活動を行なうための部屋がない 	<ul style="list-style-type: none"> 多目的室があるが、室内遊具や事務所類等、物置として使用してしまっている 	<ul style="list-style-type: none"> 物置化してしまっている部屋を、きちんと利用児のために使用できるように整備していく
2	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画についてチーム全体で会議を行なうことが難しい 	<ul style="list-style-type: none"> 担当職員と会議を行なうことはできているが、職員全員から意見を聞くことができていない 	<ul style="list-style-type: none"> 会議を行なう前に、職員全員から意見を聞く体制を整える 意見を話しやすい、伝えやすい環境作りに努めていく
3	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の推しがない 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽療法、リトミックを行なっているが、活動内容が慢性化している 	<ul style="list-style-type: none"> 利用児のためになるもの、保護者が「通わせたい」と思ってもらえるような目玉を他事業所のホームページ等を見て模索する